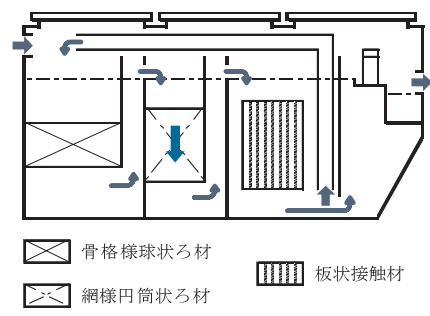
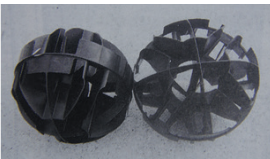

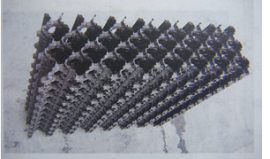




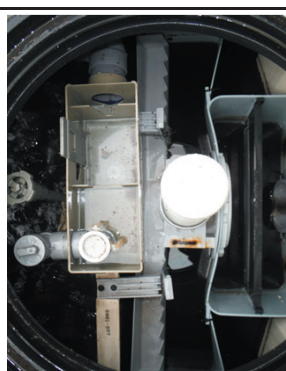
事例3 2 1次処理第2室 清掃後の強制攪拌による水質改善事例（清掃）

1. 基本情報および概要図

処理方式	構造例示型 嫌気ろ床接触ばっ気	作業予定月	
メーカー/型式	積水ホームテクノ(株)/SGS II型	清掃	10月
人槽(容量)/使用人員	7人槽 (4.342m ³)/4人使用	保守点検	12・4・8月
日平均汚水量	1.40m ³ /日	法定検査	6月

SGS II型 ろ材と接触材			概要図
1次処理1室 骨格様球状	<u>1次処理2室</u> 網様円筒状	2次処理 板状	
			
φ150 不規則充填	φ125×L180 不規則充填	規則充填	





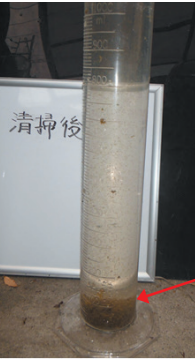
2. 清掃時の槽内状況(平成29年10月13日)

	1次処理1室	1次処理2室/2次処理	2次処理/沈殿槽
流入 →			
	スカム厚10cm 堆積汚泥厚15cm	1次処理流出水透視度18度 堆積汚泥厚21cm	放流水透視度25度

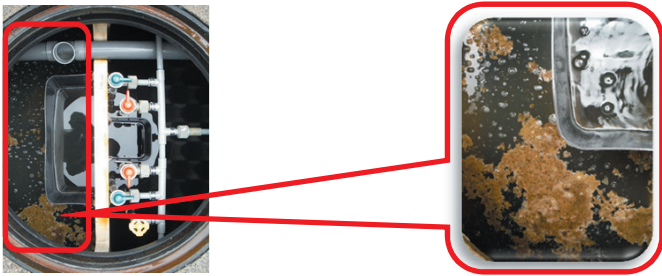
3. 過去の測定結果と清掃時の引抜き状況

			放流水透視度(度)	1次処理1室		1次処理2室		2次処理	清掃時の引抜き状況		
				スカム厚(cm)	堆積汚泥厚(cm)	堆積汚泥厚(cm)	流出水透視度(度)		堆積汚泥厚(cm)	1次処理	2次処理
平成27年度	清掃	10月15日	<u>27</u>	8	10	16	<u>14</u>	10	有効容量	1次処理 2.371m ³	2次処理 1.971m ³
	保守	12月7日	<u>22</u>	2	5	15	<u>19</u>	0	引抜き量	全量	1.0m ³ 移送水0.0m ³
平成28年度	清掃	10月20日	<u>24</u>	10	11	18	<u>15</u>	7	強制攪拌	清掃前1次処理1室、2室	
	保守	12月8日	<u>27</u>	3	5	17	<u>23</u>	0	引抜き量	全量	1.0m ³ 移送水0.4m ³
平成29年度	清掃	10月13日	<u>25</u>	10	15	21	<u>18</u>	13	強制攪拌	清掃前1室、2室	清掃後2室
	保守	12月7日	<u>50</u>	2	3	14	<u>50</u>	0	引抜き量	全量	1.0m ³ 移送水0.4m ³

4. 1次処理2室の強制攪拌の状況(平成29年10月13日)

	2室強制攪拌作業	剥離汚泥	汚泥状況	強制攪拌用器具
清掃(前)			浮上した汚泥 沈降した汚泥 SV12%	 ・ブロワ 80L/分 ・ホース ・塩ビパイプ φ13×2,000mm ブロワから空気を送り、ろ材内部の汚泥を剥離し機能を回復する
清掃(水張り後)			浮上した汚泥なし 中間水に汚泥が少ない 沈降した汚泥 SV8% この汚泥がろ材内部にあった	

5. 清掃作業7日後に確認(平成29年10月20日)

1次処理2室	1次2室流出水と堆積汚泥
 <p>清掃作業7日後にスカムが浮上している 【参考値】法定検査データ SGS II型スカム厚平均1cm未満</p>	 <p>1次2室流出水透視度43度 堆積汚泥厚0cm</p>

6. 清掃2か月後、保守点検時の槽内状況(平成29年12月7日)

1次処理2室	1次2室流出水と堆積汚泥
 <p>スカムは沈降し、減少している 1次処理2室内の透明度は高い</p>	 <p>1次2室流出水透視度50度以上 堆積汚泥厚14cm</p>

7. 清掃作業(水張り後)1次処理2室の強制攪拌

1) 過去の経時的データを确认后、清掃2か月後の保守点検時の1次処理流出水、放流水透視度が低下している施設については、ろ材の形状に応じた、清掃前の強制攪拌と併せて水張り後の強制攪拌も検討する。